

2027年1月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

(第17期 2026年2月1日～2026年7月31日)

2026年9月11日

丸善CHIホールディングス株式会社

3159 <https://www.maruzen-chi.co.jp/>



目次

I 2027年1月期 第2四半期(中間期)決算の概要……………2

II 中期経営計画に関する取り組み……………12

Appendix……………16

I 2027年1月期 第2四半期(中間期)決算の概要



I -1. 第2四半期(中間期)サマリー 累計業績(連結) 前年同期比

- 第2四半期(中間期)は、前期の2025大阪・関西万博関連需要の反動により減収となったものの、複数の事業セグメントにおいて収益性の改善が進み増益となりました。
- 店舗・ネット販売事業では、万博関連需要の反動により減収減益となったものの、IP関連雑貨・リユースの導入などによる事業ポートフォリオの改善が進み、各事業も概ね堅調に推移しました。
- 図書館サポート事業では受託館数が堅調に増加し、その他事業も好調に推移したことから、増収増益となり、文教市場販売事業では書籍販売が低調に推移したものの、設計・施工案件の収益性の改善等により増益となりました。
- これらの結果、売上高は、対前期比97.5%の**90,224百万円**、営業利益は、対前期比108.1%の**3,070百万円**となりました。

◆第2四半期累計 前年比較

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	売上高	営業利益	営業 利益率	経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益
前年同期実績	92,517	2,840	3.1%	2,805	2,044
第2四半期 累計実績	90,224	3,070	3.4%	2,987	2,019
対前年同期 増減	-2,292	+229	+0.3p	+181	-24
対前年同期 比率	97.5%	108.1%	—	106.5%	98.8%

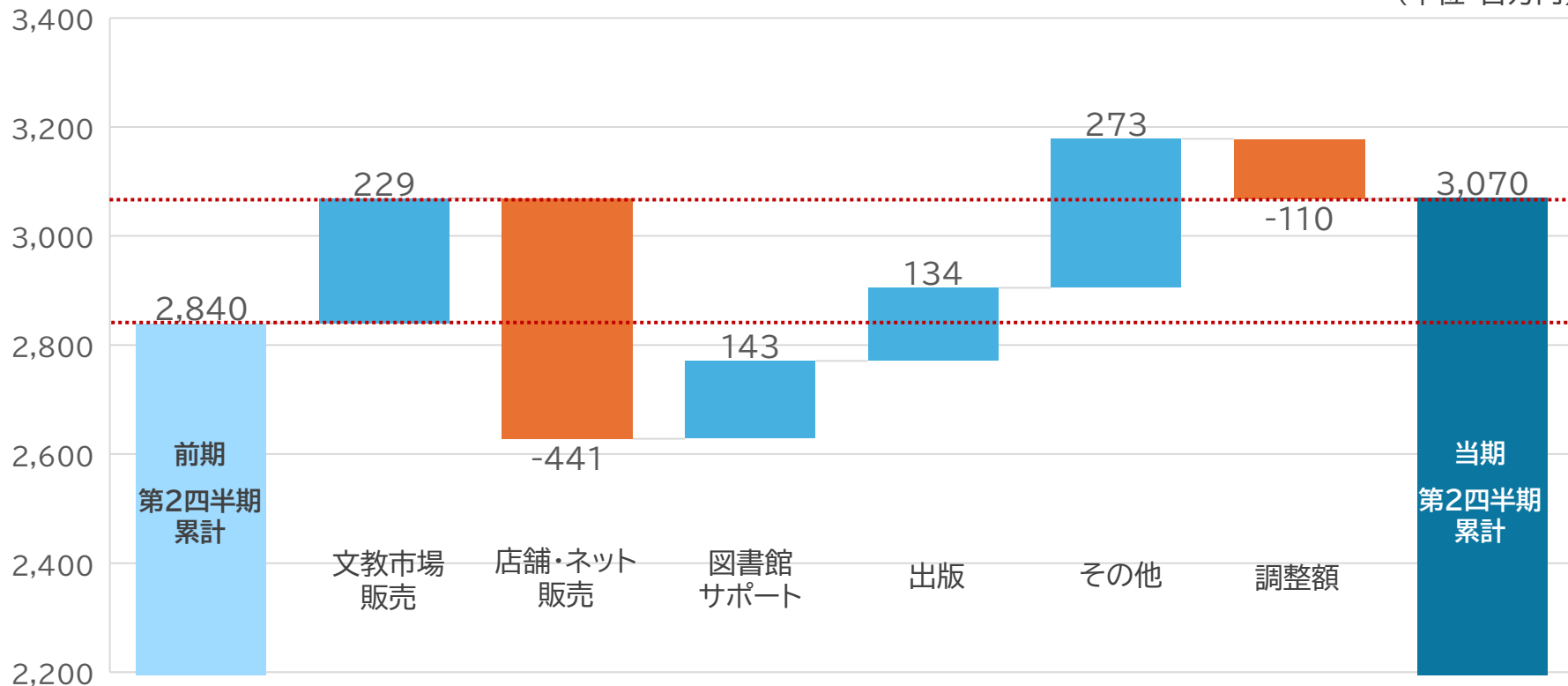


I -2. 第2四半期(中間期)サマリー 累計業績 連結営業利益の増減

- ▶ 営業利益は、店舗・ネット販売事業において、前期の大阪・関西万博オフィシャルストア運営等による特需の反動から大幅な減益となった一方、文教市場販売事業における教育・研究施設や図書館等の設計・施工案件の収益性改善に加え、その他事業(総合保育サービス、書店・小売店向け設計・デザイン・内装事業等)が好調に推移したことから、前年同期比**229百万円**の増益となりました。

◆営業利益 対前年増減

(単位:百万円)





I -3. 第2四半期(中間期)サマリー 業績見通し 2027年1月期

- 第2四半期(中間期)まで増益となった一方、第3四半期以降、各事業セグメントにおける最低賃金の上昇などによる人件費の増加や資材価格の高騰などが見込まれること、および中期経営計画の施策を推進するための投資や初期支出を計画していることから、期初業績予想の見直しは行っておりません。

◆業績予想

(単位:百万円)

2027年 1月期通期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
期初業績予想	174,000	4,000	3,900	2,470
業績予想 (本日時点)	上記の期初業績予想から変更なし			
(参考) 前期通期実績	185,053	5,593	5,493	3,334

◆株主還元

【方針】

当社グループでは、総還元性向を株主還元の指標と位置づけており、経営基盤の一層の強化に努めながら、中期経営計画において示すとおり、2029年1月期までに配当性向30%の実現を目標とし、安定的かつ継続的な配当の実施に取り組んでおります。

【利益配分】

2027年1月期期末配当につきましては、2026年3月13日に公表いたしましたとおり1株当たり6円の配当を実施する予定としております。



I -4. 第2四半期(中間期)サマリー セグメント別損益ハイライト

◆2026年2月1日～2026年7月31日

(単位:百万円)

連 結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
①文教市場販売事業	26,345	26,641	98.9%	2,182	1,953	111.7%
②店舗・ネット販売事業	35,151	38,850	90.5%	593	1,034	57.4%
③図書館サポート事業	20,540	19,508	105.3%	1,526	1,382	110.4%
④出版事業	2,000	1,850	108.1%	63	-70	前年差 134百万円
⑤その他事業	6,186	5,666	109.2%	595	322	184.7%
消去又は全社				-1,892	-1,781	---
合 計	90,224	92,517	97.5%	3,070	2,840	108.1%



I -5. 主要事業概況 文教市場販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	26,345	26,641	98.9%
営業利益	2,182	1,953	111.7%
営業利益率	8.3%	7.3%	+1.0p

- 学術研究や教育向け、洋書や電子書籍を含む各種出版事業、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書籍データベース(TRC MARC)の作成、販売
- 教育・研究施設、図書館等の設計・施工、大学経営コンサルティング等各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売

概況

- 書籍販売は、大学・高等教育機関向けでは引き続き厳しい状況が続き、公共図書館向けも前年同期並みで推移しました。
- 一方、教育・研究機関や図書館等の設計・施工については、学修環境改善などを背景とした設備投資需要が堅調に推移するとともに、案件の収益性も改善しました。
- 公共図書館向けでは「週刊新刊全点案内(新刊書情報誌)」のWeb化、装備コストの見直し、大学向けでは学内キャンパスショップの業務見直し等により、それぞれ効率化を進め、コスト低減につなげました。
- 結果、売上高は対前期比98.9%の**26,345百万円**、営業利益は同111.7%の**2,182百万円**となり、減収増益となりました。

中計
推進

- 不採算事業の縮小、基幹システムの見直し、人員再配置等による事業構造改革の推進。
- 専門書の電子書籍読み放題サービスや事業シナジーの高いM&A等による新規事業領域の拡大。



I -6. 主要事業概況 店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	35,151	38,850	90.5%
営業利益	593	1,034	57.4%
営業利益率	1.7%	2.7%	-1.0p

- 全国に「丸善(MARUZEN)」「ジュンク堂書店」ほかのブランドによる店舗網を展開し、和書、洋書、文具・雑貨等を販売。グループ全体の店舗数は117店舗。
- ホビー系リユース商品の買取・販売「駿河屋」のFC店舗を運営

概況

- 店舗レイアウトの見直しやイベント・ポップアップスペースの拡充により、来店機会の創出と集客力の向上を図りました。こうした施策も背景に、書籍販売は和書が堅調、洋書が好調に推移し、文具・雑貨販売もシール関連商品を中心に伸長しましたが、前期の業績を大きく牽引した万博関連売上の反動を吸収するには至りませんでした。
- また、書店との併設を中心に展開しているホビー系リユース事業(駿河屋FC店舗:新規3店舗、合計13店舗)においても、新規および既存店の売上・利益がともに好調に推移しました。
- 結果、売上高は、対前期比90.5%の**35,151百万円**、営業利益は対前期比57.4%の**593百万円**となり、減収減益となりました。

中計
推進

- コンテンツホルダー・エンタテインメント事業者等との連携による店舗活用企画の推進。
- 海外展開を見据えた業務提携・M&Aの推進。



I -7. 主要事業概況 図書館サポート事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	20,540	19,508	105.3%
営業利益	1,526	1,382	110.4%
営業利益率	7.4%	7.1%	+0.3p

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務および人材派遣

概
況

- 大学図書館・学校図書館を中心に受託館数が堅調に増加し、2026年7月末時点の受託館数は、期初から29館増の1,880館(公共図書館630館、大学図書館263館、学校図書館等987館)となりました(公共図書館、大学図書館の業務受託において、当社のシェアはトップクラス)。
- 人件費や光熱費等のコスト上昇が継続する中、増加した受託館の業績寄与に加え、業務の効率化により人件費上昇の影響を抑制し、収益を確保しました。
- 結果、売上高は、対前期比105.3%の**20,540百万円**、営業利益は、同110.4%の**1,526百万円**となり、増収増益となりました。

中計
推進

- 公共図書館で培った運営ノウハウを活かし、複合施設等の図書館周辺領域への事業展開。
- 受託施設における収益管理精度向上の推進。



I -8. 主要事業概況 出版事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	2,000	1,850	108.1%
営業利益	63	-70	前年差 134百万円
営業利益率	3.2%	—	—

- 丸善出版(株)の出版事業
『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行、およびDVDの発売
- (株)図書館流通センターの子会社である(株)岩崎書店
絵本・童話等の児童書、図書館向けの書籍の刊行

概況

- 理工専門書(丸善出版(株))および児童書(株)岩崎書店)は、新刊123点(前期118点)を刊行しました。
- 主力の教科書やDVD・児童書の販売が低調に推移した一方、専門書有力タイトルの改訂版発売や、児童書のキャラクターシール(立体シール)が人気を博し、売上が好調に推移しました。
- また、在庫適正化に伴う引当金の減少や経費削減を進め、収益性の改善に取り組みしました。
- 結果、売上高は、対前期比108.1%の**2,000百万円**、営業利益は、前年より134百万円増の**63百万円**となり、3期ぶりに営業黒字に転換しました。

中計
推進

- オリジナル専門書の電子書籍読み放題サービスの開始等による新規事業の推進(丸善出版(株))。
- 収益改善に向けた事業計画の見直し等による事業構造改革の推進(株)岩崎書店)。



I-9. 主要事業概況 その他事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	6,186	5,666	109.2%
営業利益	595	322	184.7%
営業利益率	9.6%	5.7%	+3.9p

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- PC、スマートフォンの修理、システムサポートおよび各種周辺サービスの提供
- 総合保育サービス
- 会計・税務に関する電子専門書籍のサブスクリプションサービス

概況

- 総合保育サービス事業を展開する㈱明日香は、保育・子育て支援市場における堅調な需要を背景に、増収増益となりました。
- Apple製品・PC等の修理サービスを展開するグローバルソリューションサービス㈱では、スマートフォン端末価格の上昇に伴う買い替えサイクルの長期化を受け、修理需要が堅調に推移しました。
- 書店・小売店舗向けの設計・デザイン・内装事業(丸善雄松堂㈱の事業)では、旺盛な改装・リニューアル需要を背景に受注額を伸ばし、増収増益となりました。
- 結果、売上高は対前期比109.2%の**6,186百万円**、営業利益は対前期比184.7%の**595百万円**となりました。

中計
推進

- 子育て世帯向け賃貸マンションの開発を通じたハード・ソフト両面での子育て関連事業の推進。
- 丸善リサーチにおけるAI検索機能の追加や出版社との連携セミナー企画等によるサービス領域の拡大。

Ⅱ 中期経営計画に関する取り組み



Ⅱ. 中期経営計画施策 当期の取り組み施策一覧(1)

取り組み		中計基本方針
2月	敦賀ちえなみき大学 - Active Knowledge Commons - 開講！！～知の発掘から共有まで地域の「知のインフラ」となることを目指して～ (丸善CHIホールディングス(株)、丸善雄松堂(株))	①グループ資産活用 ②成長領域の創出
3月以降	「EXPO 2027 オフィシャルストア ジュンク堂書店 大宮店」がジュンク堂書店 大宮高島屋店内にオープン(5店目。現在全国で8店を展開中) (株丸善ジュンク堂書店)	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
4月	【保育業界に新たな枠組み、医療の「コメディカル」発想を保育現場へ】保健師・看護師・臨床心理士・保育士・保育経営コンサルタントによる社内横断型の多職種連携体制「子・メディカルチーム」を設置(株明日香)	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
5月	Kortextと日本総代理店契約を締結 ～国内学術・教育機関に向けて洋書eBookの販売取扱いを開始～ (丸善雄松堂(株))	②成長領域の創出
5月	絵本の世界を楽しむ空間「EHONS SENDAI」が宮城県仙台市にオープン(9店舗目) (株丸善ジュンク堂書店)	②成長領域の創出 ③収益構造の転換



Ⅱ. 中期経営計画施策 当期の取り組み施策一覧(2)

取り組み		中計基本方針
6月	De Gruyter Brill との総代理店契約を拡大 ～Brill刊行の学術雑誌についても日本国内の販売総代理店に～ (丸善雄松堂株)	②成長領域の創出
6月	都道府県代表作が競う新しい文学賞「本の甲子園」、作家91名・119作品のエントリーから代表35作品が決定！6月よりトーナメント戦開始、決勝は10月5日(月)石山寺にて開催～ (株図書館流通センター)	②成長領域の創出
6月	“きっかけ”を生むシェア本棚「cuebooks naha」がジュンク堂書店 那覇店内にオープン(2店舗目) (株丸善ジュンク堂書店)	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
6月	「保育人材白書 2026 ～少子化時代の保育キャリア～」を発行(株明日香)	②成長領域の創出
7月	丸善雄松堂と神戸松蔭大学はIP(知的財産)事業の人材育成で連携協定を締結～グローバルな視点でIP開発からプロデュースまでを担う人材の育成を目指して～	②成長領域の創出 ③収益構造の転換



Ⅱ. 中期経営計画施策 当期の取り組み施策一覧(3)

取り組み		中計基本方針
7月	石川県小松市「小松市未来型図書館等複合施設整備・運営事業」において、当社が構成企業として参画するグループが優先交渉権者に選定（丸善雄松堂株）	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
7月	愛知・名古屋2026公式ライセンスショップ(第20回アジア競技大会)をオープン（株丸善ジュンク堂書店）	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
7月	中高生向け総合学習支援ツール「ジャパンナレッジSchool」に『理科年表2026』が新規搭載！（丸善出版株）	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
7月	電子書籍読み放題サービスを開始（丸善出版株）	②成長領域の創出 ③収益構造の転換
8月	図書館流通センターとリコージャパン、さいたま市立大宮図書館でAI音声コンシェルジュを活用した図書館案内の実証実験を開始	②成長領域の創出

Appendix



当社グループ事業会社とセグメントマッピング

MARUZEN CHI
Holdings

グレー表示は、連結対象主要孫会社

事業会社 \ セグメント	文教市場 販売事業	図書館 サポート事業	店舗・ネット 販売事業	出版事業	その他事業
丸善雄松堂	丸善雄松堂(株)				丸善雄松堂(株) (株)第一鋼鉄工業所 (株)編集工学研究所
図書館流通センター	(株)図書館流通センター TRC-ADEAC(株) (株)図書館総合研究所			(株)岩崎書店	(株)明日香 グローバルソリューションサービス(株) (株)図書流通
丸善ジュンク堂書店	(株)丸善ジュンク堂書店 (株)淳久堂書店 台湾淳久堂股份有限公司				
丸善出版				丸善出版(株) 丸善プラネット(株) (株)サイオ出版	
丸善リサーチサービス					(株)丸善リサーチサービス



本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。